



## ② 南極の氷に歓声！ 砕氷艦『しらせ』からのプレゼント！

5月8日(木)、大崎小学校に南極の氷が届きました。これは、昭和50年(1975年)の卒業生で、海上自衛隊砕氷艦『南極観測艦』しらせ艦長の日高孝次1等海佐(町東出身)から、『大崎に育てられたので、南極の氷を後輩たちの育成に活用してもらいたい』との思いから寄贈されたものです。

当日は、日高さんの兄の孝一さんが氷を同校に届け、併せて隊員らが危険を冒して採取してきた氷や、砕氷艦『しらせ』の活動状況などについて児童らに説明しました。

児童らは、直接氷をさわって冷たい感触を確かめたり、耳を近づけて数万年前に閉じ込められた空気がはじける音を聞いたりして大喜びでした。

児童を代表して6年生の池田優人さんと竹原寧々さんが、「普段できない体験ができてうれしかったです。ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べました。

なお、南極の氷は、町内全小中学校へ贈られました。

## ① 第10回関西かごしまファンデー！

4月27日(日)、京セラドーム大阪(大阪市)において、鹿児島県産品や観光情報を発信する『関西かごしまファンデー』が開催されました。

関西鹿児島県人会総連合会(稲盛和夫会長)主催で、今回は10回目の記念大会となりました。

当日は、関西の県出身者のほか、岐阜県鹿児島県人にも呼びかけたこともあり、過去最多の3万6千人が来場しました。

物産観光展には、県内の市町村や企業、239団体から321ブースが並び、観光PRや特産品の販売が行われ、ふるさとの味と芸能を堪能するなど、会場内が鹿児島1色の1日となりました。

また、来場者の中に、本町出身者で構成される近畿大崎町会(川元信太郎会長)の会員や昭和40年に大崎中学校を卒業した『昭和40年会』(代表:東牧清美さん)も今回のイベントに合わせて参集し、近況や思い出話に花を咲かせていました。